

# ま え が き

この度、平成17年10月20日に開催した運営諮問会議の概要を報告書にとりまとめ、刊行する運びとなりました。お忙しい中、出席いただき、積極的にご審議に参画いただいた委員各位に厚く御礼申し上げます。

運営諮問会議は、平成16年度の独立行政法人化を契機に従来の外部評価委員会を改組し、教育研究活動をはじめとする学校運営に関する評価に加えて、運営方針や教育研究計画について幅広くご意見をいただく機関として再出発したものです。

今回は、高専にとって、喫緊の課題である優秀な入学者の確保と創造的、実践的な技術者育成のための地域連携教育活動の推進に焦点を絞って、現状と課題を報告し、ご意見をたまわる形で会議を開催させていただきました。第1のテーマについては、少子高齢化が進み、人口減少社会に入った中で、高専教育の良さを中学生及びその保護者に十分理解いただいた上で、双方にとって最適な進路選択をしていただくためには、教育理念や教育目標、アドミッションポリシーなどをより分かりやすい形で提示するとともに、これまで以上に戦略的に広報活動を行うことが必要になってきます。また、第2のテーマに関しては、従来から創造的、実践的な教育を目指し実験実習を重視し、問題解決型のグループ学習の導入にも努力してきましたが、高専教育の特色をより発揮していくためには、地元企業などの協力を得て地域協同のものづくり教育を展開していくことが求められております。今回、このような課題に対し様々なご提案・ご意見を頂きましたが、問題は、学校が有する限られた人的、物的資源の中でより良い選択と集中を行い、教職員全員が共通の認識と目標を持ち、いかに協力して実行していくかという点にあるわけで、明確な目標を掲げ、スパイラルアップの取り組みを着実に進めていきたいと考えています。

なお、基本的な課題である教育の質の向上については、今年度生産工学プログラム及びシステムデザイン工学プログラムが新たに JABEE（日本技術者教育認定機構）の審査を受けるとともに、生物応用化学プログラムが中間審査を受けるなど様々な面で積極的な努力を行っているところでありますが、それらについても、今後機会を設け、改善方針や改善状況について評価をいただきたいと考えています。また、国際的に通用性のある教育を目指し新たに導入されることとなった学修単位（家庭学習を含む45時間の学修を1単位とする単位制度）への対応など高専教育の構造改革とも言うべき課題につきましても、次回以降に課題として取り上げ、ご意見をいただくつもりです。

本校としては、地域に根ざした高専として、地域の未来を担う有為な技術者を育成することはもとより、様々な機関・団体と協力して地域産業の振興など地域の発展課題に取り組むために、運営諮問会議でのご議論、ご意見を積極的に生かして学校の運営に当たっていく所存です。委員各位には、引き続きご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成18年2月

新居浜工業高等専門学校長 水 野 豊